

収蔵庫に眠る逸品たち

6

ナゾ多きものたち

愛知県埋蔵文化財調査センター
春の特別公開 2026

展示解説シート



2026.4.4（土）～4.17（金）（4.11（土）・12（日）は休館）

愛知県埋蔵文化財調査センター（愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24）

まるまどつきどき
円窓付土器



いっしきあおかいいせき
一色青海遺跡（稲沢市）出土
弥生時代

- ・「円」形の「窓」が「付」いた「土器」なので、円窓付土器といいます。
- ・お墓の近くからよく見つかります。
- ・穴が開いていますが、壊れているわけではありません。展示しているものは、土器を焼いて完成させる前に穴が開けられています。
- ・なぜ穴が開いているのかよくわかっていません。

きだい
器台



うしまきいせき
牛牧遺跡（名古屋市守山区）出土
古墳時代

- ・須恵器の器台です。似たようなものが少ない、めずらしいものです。
- ・高さが50cm以上あります。
- ・上面には「井」の形に粘土が貼り付けられています。すずがついている（下図の赤色の破線部）ので、なにかを燃やしたのかもしれない。



てあぶりがたどき
手焙形土器

こうさかいせき

高坂遺跡（豊川市）出土

弥生時代末から古墳時代初頭

- ・江戸時代に使われた手を温めるための火鉢、「てあぶり」に似ているため、「手焙形土器」と呼ばれています。しかし、必ずしもすすが付いているわけではありません。
- ・このように覆い^{おお}の付いた形の土器はほとんどありません。
- ・弥生時代末から古墳時代初頭の限られた時期のみ使われました。



はにわ
埴輪

あさがおがたはにわ
① 朝顔形埴輪

かわだいせき
川田遺跡（愛西市）

古墳時代

- ・今回展示しているものには残っていませんが、本来は上部が朝顔の花のように広がります。

けいしょうはにわ
② 形象埴輪

だんぶさんこふん
断夫山古墳（名古屋市熱田区）

古墳時代

- ・人や動物、家などの形をした埴輪です。
- ・珍しいので、なかなか見つからないだけでなく、見つかったも小さな破片であることがほとんどです。



3D 展示室のご案内

もっとたくさんの人に見てもらいたい！ 知ってもらいたい！ そんな思いから、^{あいちけんまいぞう}愛知県埋蔵文化財調査センター^{がんかざいちょうさ}では、^{いぶつ}遺物の3D化を進めています。3D化したデータをウェブ上で公開することで、だれでも、どこでも、いつでも遺物を味わうことができます。また、展示では見られない裏面や底も見られます。ぜひご覧ください！

1 ^{えつらん}3Dデータ閲覧サイト「^{スケッチファブ}Sketchfab」を開く

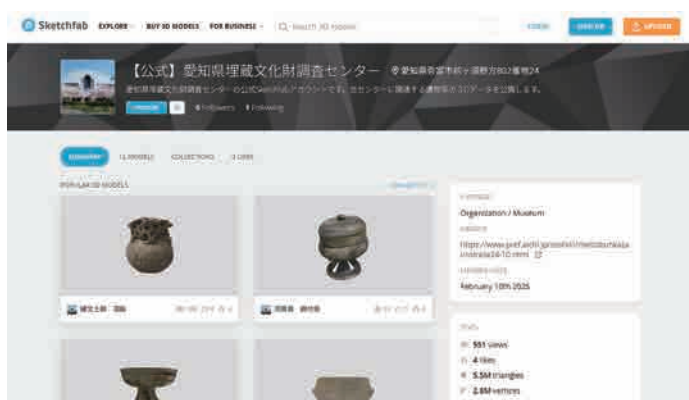
https://sketchfab.com/aichi_pref_maibunを入力するか、右のQRコードから愛知県埋蔵文化財調査センター公式「Sketchfab」にアクセスする。

※3Dデータはデータ量が多いため、通信環境や通信料にご注意ください。

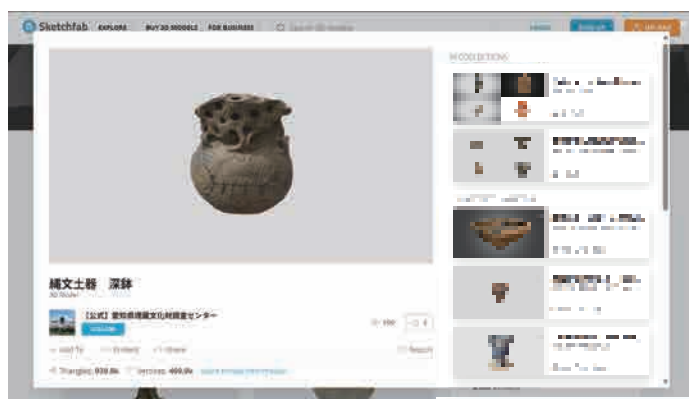
※愛知県埋蔵文化財調査センター展示室内にてスマートフォンからご覧いただくこともできますが、フリーWi-fiはありません。通信料は各自でご負担ください。



2 見たい遺物を選ぶ



アクセスすると、この画面が出てきます。気になる遺物をタップもしくはクリックで選んでください。



データを読み込むと、この画面になります。遺物を自由にくるくるとまわして^{かんさつ}観察することができます。

底まで見られる！



近くで見られる！